

榎本武揚

えのもと  
たけまさ

舊幕臣、政治家。天保七年八月、二十五日江戸生れ、

明治四十一年十月、二十六日没（二八三—一九〇八）。通稱釜次郎、和泉守。

荒柳川、梁川。安政二年海軍傳習所公學び、五年軍艦操練所教授方出

役。文久二年オランダ留學、慶應四年蝦夷の箱館等を占領して獨立政

権を樹立、總裁となる。翌年政府軍に降伏し、五年赦され、開始使出

任。八年ロシア特命全權公使として千島樺太交換條約を締結。十二年

條約改正取調御用掛、外務省出仕。十五年駐清公使、爾後遞信相、文

相、樞密顧問官、外相、農商務相歴任。子爵。

著書『五十名家語録』（合著・平田骨仙撰、明治二十一年十月十二日

平田勝馬刊、鐵華書院）、『西比利亞日記―附渡蘭日記』（廣瀬彦太

編、昭和十八年七月十五日東北書院）等。『資料榎本武揚』（編集・解

説加茂儀一、昭和四十四年八月十五日新人物往來社）刊。

